



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.1.27 No. 4128

水野・中江選挙闘争に起とう! 旗開きで発せられた闘争宣言



中江昌夫
船橋市議



水野正美
勝浦市議予定候補

動労千葉の九五年の闘いの開始を告げる、一・一四団結旗開きは二〇〇名の結集において大成功を勝ちとった。

第一部・第二部を通じて、来賓として出席をいただいた、県交運・岡野事務局長、千葉労組会議・広田事務局長、赤桐操氏秘書・永野氏、全金本山労働組合・長谷委員長、辻田実館山市議会議員、足立まち子成田市議会議員、都政を革新する会・長谷川英憲氏、全国労組交流センター本部・池田常任運営委員をはじめ多くの方々よりあいさつをいただいた。

労働者階級に合流し共に闘う!

とりわけ来賓あいさつの中で胸を揺さ振ったのは、車の両輪

である三里塚芝山連合空港反対同盟・伊藤さんより、「反対同盟はひとつの転換点を迎えている。三里塚闘争が勝つためにどうするか、どこに未来をかけていくのか、反対同盟は本年の旗開きの中で新たな戦闘宣言を発した。動労千葉を中心とした労働者階級に未来を託し、合流し共に闘っていく」という力強いあいさつであり、解雇撤回闘争を中心に法廷闘争を展開している動労千葉顧問弁護団・葉山弁護士のみさつであった。

反核・護憲の旗を掲げ四選勝利

地域の中に動労千葉の運動を!

全体のポルテージが最も上がったのは、今春の統一地方選挙に、組織内候補として立候補する、中江、水野両候補が登壇し、その決意を満場に向かって表明したときであった。

中江船橋市議は、「動労千葉の旗開きで四回目の選挙の決意表明をする。このことは皆さんのご支援以外の何ものでもない。政治はきわめて混沌している。どう正常化していくのか、それは闘う労働運動が担っていかなければならない。今度の闘いは四五年の運動の総決算の闘いであり、船橋の地に反核護憲の旗を掲げて、水野さんの勝利と合わせて動労千葉の議員団を作っていきたいと考えている」と闘いへの決意表明を行い、それを受けて、水野候補が、「時流に抗して闘ってきた。今年には戦後の歴史を画する攻撃がかかって

一・一四団結旗開きに寄せられたメッセージ

- ※三里塚決戦勝利全国西実行委員会
 - ※部落解放同盟全国連合会
 - ※部落解放同盟全国連合会関東ブロック協議会
 - ※部落解放同盟全国連合会茨城県連合会
 - ※部落解放同盟全国連合会長野県連(準)
 - ※北富士忍草母の会
 - ※国労小倉地区闘争団日豊オルグ班
 - ※動労西日本
 - ※動労西日本北陸支部
 - ※社会党千葉本部委員長 小岩井清
 - ※千葉県労働金庫本店営業部
 - ※全国一般千葉中小労連
 - ※全電通千葉本部
 - ※参議院副議長 赤桐 操
 - ※参議院議員 糸久 八重子
- 本稿にて篤く御礼申し上げます
順不同敬称略

きている。分割・民営化一〇年目の見直しを軸とした攻撃に対し、動労千葉の闘いを地域の中で培っていく。この闘いは地域の民衆の権利を守る闘いと一体のものとしてある。自身、動労千葉の帰趨がかかっている闘いとして位置づけ、総力をあげて奮闘する」と表明した。それは万雷の拍手で確認され、今春の総決起・総行動体制への雄叫びとなった。

闘う動労の伝統を守る闘いを!

さらに、松崎OB会会長、動労千葉家族会・佐藤会長より、二・五家族会総会への呼びかけがあり、動労総連合より、動労高崎連帯・和田山委員長、動労水戸・曲山さんのあいさつの中

で発せられた、「職場のなかで一步も引かず闘っている。動労の伝統を守り組織拡大に邁進している」、「組合差別を打ち破り車掌登用を勝ちとった。JR体制の打倒へ向け、闘いの扉を大きくこじ開けている」という発言に、共に闘う仲間として大きな勇気と展望を全体が見いだした。

いよいよ九五年の闘いが開始される。とりわけ今春の統一地方選挙に起つ、組織内候補・水野、中江候補の必勝へ向け、全支部はその体制を確立し、臍を決した闘いへと進撃しよう! 闘う動労千葉議員団の確立、地域において動労千葉の運動を展開しよう!